

2025（令和7）年度「議会による行政評価」評価の視点 （案）

1 評価の検証の視点

- (1) 「いいだ未来デザイン2028」中期計画4年間（R3～R6）の評価の検証
 - ① 昨年度は、中期計画4年間の内の3年間を評価したが、令和6年度を加えた4年間の評価を検証する。
 - ② 進捗状況確認指標や重点業績評価指標（KPI）については、質疑しない。
- (2) 次期計画（後期計画4年間）に向けて評価した内容の検証
 - ① 昨年度実施した行政評価の「後期計画へ向けた提言」における執行機関からの回答を各分科会で確認し、新たな視点があれば記載する。

2 合同審査の評価の視点

- (1) 複数の分科会に関連する中期計画の基本目標については、該当する分科会間で事前に調整した上で、主たる所管の分科会で意見を取りまとめる。

3 後期計画における戦略バスケットへの対応した分科会審査の視点

- (1) 後期基本計画は、中期基本計画に比べ、戦略バスケット方式ⁱがより濃くなっていることから、各分科会のまとめにおいて、担当する基本目標以外の記載がある場合は、政策会議の場で調整する。

ⁱ ※戦略バスケット方式とは…4年間の取組の方向性（目標）の実現に向けた事務事業を立案し、目標ごとに関係する戦略のカゴ（バスケット）に集め戦略計画を策定する。目標達成のための効果的な戦略を組み直せるよう戦略計画は毎年見直しを行う。